

# i 館内インフォメーション

## 平成29年度 県立美術館メンバーズクラブ 会員募集!

山口県立美術館と山口県立萩美術館・浦上記念館では、両館で開催する展覧会等を通じて、美術に広く親しんでいただき、地域文化の向上に寄与することを目的として、2館共通のメンバーズクラブ会員を募集します。4年目となる本年も、皆さまのご入会をお待ちしております。

\*会員特典・入会方法などの詳細については、当館HPまたは会員募集チラシをご覧ください。



プレミアムギャラリーートーク風景

- 会員特典** 2館の企画展(特別展)を3回まで無料、4回目以降は半額。コレクション展(普通展示)も3回まで無料、4回目以降は100円でご覧いただけます。
  - 入会金** 一般:2,000円、学生:1,700円、シニア(70歳以上):1,400円
  - 募集期間** 平成29年4月1日(土)~7月30日(日)
- ◎山口県内の大学はじめキャンパスメンバーズ加盟校の一覧は、当館ホームページにてご覧いただけます。

## 2016年 新しく制作しました! エントランス正面サイン & パンフレット「山美時間」



コレクション展示室では、山口県立美術館が所蔵する洋画、日本画、写真、版画や彫刻など、およそ4,000点の収蔵作品を中心に、様々なテーマを設けて約1~2ヶ月ごとに替わるラインナップでお楽しみいただいています。このコレクション展の今年度の見どころをはじめ、山口県立美術館のいつもの違った楽しみ方をご紹介しますパンフレット「山美時間」を制作しました。



ぜひ手に取って、ゆっくりとした一時をお過ごしくださいませ。  
また、特別展を開催していない期間に、皆さまをお出迎えるエントランス正面サインが登場。こちらは写真撮影OKですので、ぜひ当館の収蔵作品をデザインしたサインの前で、ご来館記念の1枚をお撮りいただき、SNSへ投稿してみたいかがでしょうか。

# 2017 - 2018 schedule

	展示室 A	展示室 B	展示室 C	展示室 D	展示室 E	展示室 F
4						全館休館(4/10-19)
5	4/20(木)-6/18(日) 香月泰男と松田正平		4/20(木)-5/21(日) 日本画 キャラクター図鑑	特別展 4/20(木)-6/18(日) 高畑・宮崎アニメの秘密がわかる。 スタジオジブリ・レイアウト展 ファーストマンデー 5/1、6/5		
6			5/23(火)-6/18(日) 日本画レイアウト展 作品になる、その手前			全館休館(6/19-7/5)
7	7/6(木)-9/24(日) 川原舜の ヨーロッパ	7/6(木)-9/24(日) 風景でたどる シベリア・シリーズ	7/6(木)-7/30(日) [昭和]の日本画	特別展 7/6(木)-8/27(日) ランス美術館展 華麗なるフランス絵画 ファーストマンデー 8/7		
8			8/1(火)-8/27(日) 日本画の山川草木I 江戸時代のユートピア			全館休館(8/28-9/11)
9			9/12(火)-10/29(日) 日本画の山川草木II 近代の風景と山水			
10	9/26(火)-12/10(日)	9/26(火)-12/10(日)		9/16(土)-10/1(日) 第71回山口県美術展覧会		全館休館(10/16-19)
11	ふたり	県美新入生 歓迎会	10/31(火)-12/10(日) 雪舟と雪舟流	特別展 10/20(金)-12/10(日) 創建1250年記念 奈良 西大寺展 叡尊と一門の名宝 ファーストマンデー 11/6、12/4		
12						全館休館(12/11-1/1)
1	1/2(火)-4/8(日)	1/2(火)-2/18(日)	1/2(火)-2/18(日)	1/23(火)-1/28(日) 第70回山口県学校美術展覧会 1/31(水)-2/4(日) 山口県立大学卒業制作展 2/7(水)-2/11(日) 山口芸術短期大学卒業制作展 2/14(水)-2/18(日) 山口大学教育学部美術教育卒業・修了制作展 全館休館(2/19-23)		
2	昭和の家族	2/24(土)-4/1(日) コレクション展特別展示 重要文化財「防長土図」 驚愕! 250年前の3D巨大地図	2/24(土)-4/8(日) コレクション展特別展示 禅寺の肖像画	特別展 2/24(土)-4/8(日) デンマーク・デザイン ファーストマンデー 3/5、4/2		
3						

**Information**  
**■休館日**  
 月曜日(祝日・休日の場合は開館)、年末年始(1/2から開館)  
 ※ただし、ファーストマンデー 特別展開催中の第1月曜日は開館。  
**■展示替期間** 2017年4月10日(月)-19日(水)、6月19日(月)-7月5日(水)、  
 8月28日(月)-9月11日(月)、10月16日(月)-19日(木)、  
 12月11日(月)-2018年1月1日(月)、2月19日(月)-23日(金)  
**■開館時間**  
 9:00~17:00(入館は16:30まで)  
**■料金**  
 コレクション展:一般300(240)円 学生200(160)円  
 ※( )内は20名以上の団体料金。  
 ※18歳以下と70歳以上および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に  
 在学する生徒は無料。  
 ※障害者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。  
 特別展:別途定めた料金



**山口県立美術館**  
 Yamaguchi Prefectural Art Museum  
 〒753-0089 山口県山口市亀山町3-1  
 TEL: 083-925-7788 FAX: 083-925-7790  
 http://www.yma-web.jp/

f 美術館情報をFacebookで紹介しています

Yamaguchi Prefectural Art Museum

# 127

Contents  
 コレクション展

- 特別展  
スタジオジブリ・レイアウト展
- ランス美術館展
- 奈良 西大寺展
- デンマーク・デザイン

館内インフォメーション  
 年間スケジュール

山口県立美術館ニュース「天花」

# 天花

TENGE

Collection

## コレクション展

# 日本画 キャラクター図鑑 2017 4/20 木 - 5/21 日

表紙作品解説

《虎図》 雲谷等瑠 17世紀後半~18世紀前半 山口県立美術館蔵

くるんと口角が上がった口元。くりくりした目。頭上にちょこんとのぞくフサフサの黒耳。量感たっぷりの大きな手と、ふくふくした白く太い指先。全身が丸みに包まれた、なんとも愛らしい虎の図です。

巧みな墨のぼかしによって、なめらかで厚みのある毛皮の手触りを想起させてくれるのも、本図の見どころ。シャープな線で描かれた、爪やひげなどの細部もポイントです。ポーズを観察してみると、左前脚を少し引いて肩をいからせ、何やら斜め上空をうかがう様子。現在は単独で伝わる掛軸ですが、本来は視線の先に、籠を描いた対の一幅があったとも考えられます。

作者は萩藩毛利家お抱え絵師・雲谷派の四代目、雲谷等瑠。どちらかといえどかっちり端正な作風の印象が強い雲谷派のなかで、やわらかな作品を数多く残している絵師です。思わず「かわいい」と言いたくなる一頭が生まれたのも、等瑠のやわらかさが随所ににじみ出ているがゆえでしょう。

さらに「生きた虎」をとりまく当時の事情もまた、「かわいい」の一因といえます。頭骨や脚を大陸から入手し、虎皮を被せて観察した絵師がいたというほど、日本で本物の虎を見ることは困難だった時代。江戸時代の「虎」とは、描き継がれてきたイメージと人それぞれの想像力を組み上げて生み出すほか、いわば空想上の生きものであったのです。そういう意味では等瑠のこの虎もまた、かわいい「キャラクター」と呼ぶべき存在なのかもしれません。

(専門学芸員 岡本麻美)



雲谷等瑠《虎図》(部分) 17世紀後半~18世紀前半 山口県立美術館蔵

山口県立美術館ニュース「天花」第127号 平成29年3月発行 編集 指定管理者サンポート・バーブリック・シティ・イン・ヤマゴチ 発行 山口県立美術館 印刷 図報社写真印刷株式会社

特別展

# スタジオジブリのレイアウト展

高畑・宮崎アニメの秘密がわかる。



「風の谷のナウシカ」  
© 1984 Studio Ghibli・H

高畑勲・宮崎駿監督が築きあげてきた、アニメーション制作会社スタジオジブリ。これまで数々の大ヒット作を世に送り出してきました。本展では、「風の谷のナウシカ」から「思い出のマーニー」にいたるスタジオジブリ作品に加え、両監督がジブリ以前に手がけた「アルプスの少女ハイジ」や「未来少年コナン」など全33タイトルのアニメーションから、宮崎駿監督直筆のレイアウトを中心に、約1,300点のレイアウトを一挙に公開します。

レイアウトとは、いわばアニメーションの場面ごとの設計図とも言えるもので、制作の工程の中でも、とても重要な役割を担っています。しかもその一枚一枚は、ただの設計図にとどまるものではありません。人物の繊細な表情、背景の細かな描写などに、アニメーションの奥深さ、豊かさが感じられる作品となっています。スタジオジブリのアニメーションは、いったいどのように生み出されてきたのか。レイアウトを読み解きながら、その創作の秘密に迫ります。

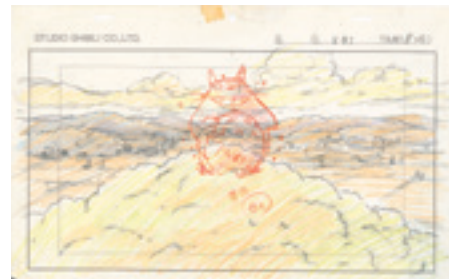
展覧会特設サイト ▶▶ <http://www.yma-ghibli.com>

2017年 4月20日(木) → 6月18日(日)

開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)  
ゴールドデンウィーク夜間特別開館 4月29日(土)～5月6日(土)は20:00まで開館いたします。(入館は19:30まで)  
休館日 月曜日 ※ただし、ファーストマンデーの5月1日および6月5日は開館

観覧料  
一般1,300(1,100)円/シニア・学生1,100(900)円/18歳以下無料  
コレクション展セット券(当日券のみ)一般1,400(1,200)円/学生1,200(1,000)円  
※シニアは70歳以上の方、( )内は前売りおよび20名以上の団体料金。  
※高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。  
※障害者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。

【主催】山口県立美術館、KRY山口放送、読売新聞社、山口市  
【企画制作協力】スタジオジブリ、三鷹の森ジブリ美術館  
【後援】山口県教育委員会、山口市教育委員会、一般社団法人山口県観光連盟、山口商工会議所、一般財団法人山口観光コンベンション協会、湯田温泉旅館協同組合  
【協力】エプソン販売、ウォルト・ディズニー・ジャパン  
【協賛】スタジオアリス、JVIS 【山口会場協賛】西京銀行



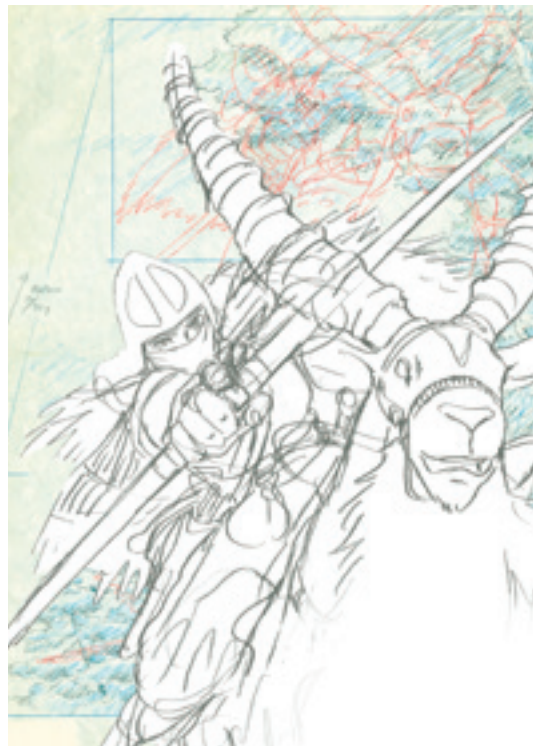
「となりのトトロ」  
© 1988 Studio Ghibli



「紅の豚」  
© 1992 Studio Ghibli・NN



「かぐや姫の物語」 © 2013 畑事務所・Studio Ghibli・NDHDMTK



「もののけ姫」  
© 1997 Studio Ghibli・ND



「千と千尋の神隠し」  
© 2001 Studio Ghibli・NDDTM

### レイアウトってなに？

レイアウトとは、一枚の紙に、背景とキャラクターの位置関係、動きの指示、カメラワークの有無やそのスピード、監督の演出意図など、そのカットで表現されるすべてが詰まった、アニメーションの設計図です。分業体制で進められる現在のアニメーション制作現場において、作業の効率化と、制作に携わるスタッフ全員がイメージを共有し、作品に統一感を持たせる上で重要な役割を果たしています。

特別展

## ランス美術館展 華麗なるフランス絵画

Chef-d'œuvre du Musée des Beaux-Arts de Reims

2017年 7月6日(木) → 8月27日(日)

休館日 月曜日 ※ただし、7月17日およびファーストマンデーの8月7日は開館

観覧料

一般1,300(1,100)円/シニア・学生1,100(900)円/18歳以下無料  
コレクション展セット券(当日券のみ)一般1,400(1,200)円/学生1,200(1,000)円  
※シニアは70歳以上の方、( )内は前売りおよび20名以上の団体料金。※高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。※障害者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。

【主催】山口県立美術館、毎日新聞社、tysテレビ山口  
【後援】在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本  
【企画・監修】ランス美術館  
Exposition produite et gérée par le Musée des Beaux-Arts de la VILLE DE REIMS.  
【協力】エールフランス航空、ヤマトロジスティクス、G.H.マム  
【企画協力】株式会社ブレントラスト

フランス北東部の古都、ランス。この街では、5世紀以来、歴代のフランス王が戴冠式を行ってきました。市の南部にはブドウ畑が広がり、シャンパン醸造の本場としても有名です。日本との関わりも深く、画家レオナルド・フジタ(藤田嗣治)が晩年カトリックの洗礼を受けたのはランスの大聖堂においてでした。彼が自ら壁画を描いたフジタ礼拝堂も、ランスにあります。

ランス美術館は、この由緒ある都市の中心に位置しています。シャンパンで財を成した人々が収集したコレクションを基に、1913年に開館しました。本展では、そんなランス美術館のコレクションから、17～20世紀までのフランス絵画と、レオナルド・フジタの絵画作品など約70点をご紹介します。華麗なるフランス美術400年の歴史をご堪能ください。



カミーユ・ピサロ  
《オペラ座通り》  
テアトル・フランセ広場  
1898年、油彩・カンヴァス



ジャック＝ルイ・ダヴィッド(および工房)  
《マラーの死》  
1793年7月13日以降、油彩・カンヴァス



ポール・ゴーギャン《バラと彫像》  
1889年、油彩・カンヴァス

※作品はすべてランス美術館所蔵 Reims, Musée des Beaux-Arts © MBA Reims 2015 / Christian Devleeschauwer.

特別展

創建1250年記念

## 奈良 西大寺展

— 叡尊と一門の名宝 —

2017年  
10月20日(金) → 12月10日(日)

休館日 月曜日  
※ただし、ファーストマンデーの11月6日および12月4日は開館

奈良時代、聖武天皇の娘、称徳天皇が「鎮護国家」を願い建立した西大寺。平城京においては東大寺などと並び称される寺格を誇りました。本展では、創建1250年を迎えた西大寺と、近畿をはじめ全国各地に広がった真言律宗ゆかりの寺院に伝わる彫刻・絵画・工芸品など、奈良時代から江戸時代までの優れた仏教美術を紹介します。



重要文化財「愛染明王坐像」 鎌倉時代 1247年  
(奈良・西大寺)  
画像提供：奈良国立博物館 撮影：森村欣司

特別展

## DENMARK: DESIGN

デンマーク・デザイン

2018年  
2月24日(土) → 4月8日(日)

休館日 月曜日  
※ただし、ファーストマンデーの3月5日および4月2日は開館

北欧の国デンマークのデザインは、シンプルな美しさや生活に寄り添う機能性、そして技術力に支えられた高いクオリティによって、世界中で愛されてきました。本展覧会では、デンマーク・デザインの名を世に知らしめたミッドセンチュリーの家具をはじめとする20世紀デンマーク・デザインの歩みを体系的にご紹介します。



アーネ・ヤコブソン《アルネ・ヤコブセン》  
肘掛椅子(スワンチェア)  
1957-58年 個人蔵  
photo: Michael Whiteway